

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長

農作物病害虫発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。



連絡先 福井県農業試験場病害虫防除室
TEL 0776-54-9315
FAX 0776-54-5106
E-mail byogaichu-boujo@pref.fukui.lg.jp



福井県病害虫防除室

検索

令和8年農作物病害虫発生予察予報第7号

9月の気象概況

天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は高い確率60%で、降水量はほぼ平年並みの見込みです。

【オオムギ関係】

病害虫名 裸黒穂病（種子消毒）

1 予報内容

発生量：平年より少なく、前年並み

2 防除対策および防除上の注意点

- (1) 種子伝染するので、種子を更新し健全な種子を使用する。また、塩水選（比重1.13）により不良麦を除去する。塩水選終了後は、塩水を落とすために水で十分に種子を洗い、むしろなどの上に広げて陰干しする。
- (2) 薬剤による種子消毒を徹底する。

病害虫名 雲形病（種子消毒）

1 予報内容

発生量：平年より少なく、前年並み

2 防除対策および防除上の注意点

- (1) 種子伝染するので、種子を更新し健全な種子を使用する。また、塩水選（比重1.13）により不良麦を除去する。塩水選終了後は、塩水を落とすために水で十分に種子を洗い、むしろなどの上に広げて陰干しする。
- (2) 薬剤による種子消毒を徹底する。
- (3) 種子が覆土されると発病が少なくなるので、条播を励行する。
- (4) 早播きすると発生が多くなるので、適期播種に努める。

【ダイズ関係】

病害虫名 ハスモンヨトウ

1 予報内容

発生時期：幼虫加害最盛期は9月中旬頃

被害程度：少発、局中発

発生量：平年より少なく、前年並み

2 防除対策および防除上の注意点

(1) 白変葉や分散前の若齢幼虫がみられたら、直ちに防除を行う。

(2) 同一系統薬剤の連用は避ける。

病害虫名 カメムシ類

1 予報内容

発生時期：加害最盛期は9月中旬

被害程度：少発、局多発

発生量：平年、前年より多い

2 防除対策および防除上の注意点

(1) 圃場への侵入が多くなる子実肥大終期（9月中旬頃）に防除を行う。

(2) 9月中旬の加害最盛期に、1圃場あたり100茎ずつ3カ所の見とり調査を行い、カメムシ類が平均して100茎当たり4.0頭以上いる場合は防除を行う。

(3) ホソヘリカメムシが優占種である場合は、加害能力が高いので注意する。

(4) 薬剤は莢に十分付着するように散布する。

病害虫名 フタスジヒメハムシ

1 予報内容

発生時期：第3世代成虫発生最盛期は9月中旬頃

被害程度：少発

発生量：平年、前年並

2 防除対策および防除上の注意点

(1) 8月下旬に第2世代成虫の防除を行っていない圃場は、9月上旬までに防除を行う。

(2) 薬剤は莢に十分付着するように散布する。

【野菜関係】

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発生量	
キャベツ	べ と 病		微 発	平年：並み 前年：少	1)圃場排水をよくする。 2)密植を避ける。 3)肥料切れをさせない。 4)被害葉を除去する。 5)薬剤散布の際は、葉裏にもよくかかるようにする。
ダイコン キャベツ	軟 腐 病	初発期： 9月中旬	少 発	平年：やや多 前年：並み	1)連作を避ける。 2)圃場排水をよくする。 3)間引き作業は適期に行う。 4)食葉性害虫を防除する。 5)発生が予想される場合は、薬剤防除を行う。
	モザイク病	初発期： 9月下旬	微 発	平年：並み 前年：並み	1)アブラムシ類を防除する。 2)発病株は、早めに除去し処分する。
ネ ギ	さ び 病		微 発	平年：やや少 前年：並み	1)適正施肥に努め、草勢を良好にする。 2)同一系統薬剤の連用は避ける。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。

【野菜関係(つづき)】

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
全 般	アブラムシ類		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)対象作物により薬剤が異なる。 2)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ハダニ類		少 発 (局中発)	平年：やや多 前年：並み	
	ヨトウムシ類 (ヨトウガ シロ シタヨトウなど)	幼虫発生 初期： 9月上旬	少 発	平年：並み 前年：並み	
	オオタバコガ		少 発 (局中発)	平年：やや少 前年：並み	1)果菜類では果実に食入するため、若齢期に防除を徹底する。
アブラナ科 野 菜	コ ナ ガ		少 発	平年：やや少 前年：並み	1)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	モンシロ チ ョ ウ (アオムシ)		少 発	平年：並み 前年：並み	
	タマナギン ウ ワ バ	加害盛期： 9月中旬	少 発	平年：並み 前年：並み	
	キスジノミ ハ ム シ	加害盛期： 9月中旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)薬剤は新芽にかかるように散布する。
	ハイマダラノ メ イ ガ (ダイコン シンクイムシ)	加害盛期： 9月上旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	
ナ ス キュウリ ホウレンソウ	アザミウマ類		少 発 (局多発)	平年：並み 前年：並み	1)寄主範囲が広いので注意する。
ト マ ト	ミカンキイロ アザミウマ		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)寄主範囲が広いので注意する。
ト マ ト キュウリ	コナジラミ類		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
ネ ギ	シロイチモジ ヨ ト ウ		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：やや少	1)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。 2)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ネギハモグリ バ エ		少 発 (局多発)	平年：並み 前年：並み	
	ネギアザ ミ ウ マ		少 発 (局多発)	平年：並み 前年：並み	

【果樹関係】

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ナ シ	ハダニ類		少 発 (局多発)	平年：やや多 前年：並み	1)同一系統の薬剤の連用を避ける。
全 般	カメムシ類		中 発 (局多発)	平年：多い 前年：多い	1)園内外を見回り、早期発見・早期防除に努める。 2)防除後も飛来が見られるようなら、追加で防除を行う。

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キ ク	白さび病		微 発	平年：並み 前年：少	1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2)下葉を除去し、日当たり、風通しを良くする。 3)同一系統薬剤の連用を避ける。
	アブラムシ類		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)同一系統薬剤の連用を避ける。 2)圃場周辺の除草に努める。
	オオタバコガ		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)若齢幼虫期までに防除を徹底する。 2)同一系統薬剤の連用を避ける。
	ハダニ類		少 発 (局中発)	平年：やや多 前年：並み	1)同一系統薬剤の連用を避ける。